

みほとけ

〒339-0008 さいたま市岩槻区表慈恩寺990

T E L 048 - 794 - 1759

F A X 048 - 794 - 3388

E-mail jyougenji@hotmail.com



常源寺と檀信徒をつなぐ

戦後80年を迎えて

今年は、第二次世界大戦の終結から80年目の節目の年です。新聞やテレビでは、戦後80年に機にさまざまな特集が組まれ、戦争で大切な家族を亡くされた遺族の悲痛な思いや当時の悲惨な映像を目や耳にする機会が増え、私たちは改めて戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えさせられます。この節目の年にあたり、戦争で尊い命を落とされたすべての方々へ衷心より哀悼の意を表すとともに、世界平和のためにこれまでたゆまぬ努力を続けてこられたすべての方々へ心からの敬意を表します。

私たちは、戦争のない世界の構築と平和のため、二度と同じ過ちを繰り返すことがないように決意を新たにし、行動していかななくてはなりません。

仏教をお開きになったお釈迦様は、「一切の生きとし生けるものは、幸せであれ。」と述べています。私たちは皆、自分自身の幸せを願います。また、自分にとって大切な人の幸せも願います。しかし、自分とあまり関わりのない他人の幸せを願うことはあまりありません。しかし、仏教では、すべての物事はさまざまな縁によって生じているのであり、相互に関わり合いつながっていると説きます。自国や他国もなく、自分や他人もなく、すべての人々が救われなければ平和は実現しないと考えるのが仏教の教えです。言い換えれば、自分の視野に入らない他者の存在に目を向けることが大切であり、自分の知らない世界に身を置く他者の存在を知ることが自分の幸せにつながるというのがお釈迦様の教えなのです。

常源寺では今年、毎年恒例のお盆の大施食会において、戦後80年の節目にあたり、戦没者への供養を捧げるとともに、世界平和を祈念いたします。ぜひ、御家族そろって御参列ください。



境内に咲く紫陽花

■ 暮らしの中の仏教用語

演説（えんぜつ）

参議院議員選挙が告示され、連日のように全国各地で候補者たちが選挙演説を行っています。実はこの「演説」という言葉も仏教がはじまりであると考えられています。演説という言葉は、多くの仏典やお経の中にも登場する言葉で、仏教をお開きになったお釈迦様が真理や道理を人々に説き明かすことを意味しています。そこから、多くの人々の前で自分の主義主張や意見を述べることを指すようになったと言われています。

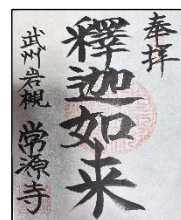
◇ 仏教なんでもQ & A ◇

Q 御朱印とは何ですか？

A 御朱印とは、神社仏閣を参拝された方に対して授与される台紙に押印された朱色の印影のことです。一般的には、神職や住職が墨で台紙に寺社名や参拝日などを記した上で押印します。

最近では、参拝せずに御朱印だけをスタンプラリーのようにして集める方がおられますが、本来、寺院の御朱印は「納経印」と呼ばれ、自らが書写した經典をお寺に納めた証として授与されたものでした。それが後に、納経せずに寺院をお参りしただけの方にも広く授与されるようになったのです。

常源寺でも御朱印を用意してございますので、御希望の方はお申し出ください。



今年もお盆がやってきます

古来より日本人は、先祖を敬い大切にしてきた国民だと言われています。その心が端的に表れるのがお盆やお彼岸などの仏教行事や先祖供養への参加です。

日本では、亡きご先祖様が年に二回ほど自宅へ戻ってくると信じられてきました。一つはお正月、もう一つがお盆です。お盆は、正式には「盂蘭盆会」と言い、「仏説盂蘭盆経」というお経がもとになって生まれました。ご先祖様が帰ってくるお盆に先祖の霊を慰め、苦しみから救い、より良い世界へ送りたいと願うのがお盆のはじまりだと考えられています。

地域によって多少の違いはありますが、お盆の期間は一般的に、7月13日から16日、または、8月13日から16日とされています。お盆は4日間もの間ご先祖様がその家に留まっているわけですから手厚くお迎えして共に過ごしたいものです。お盆は亡き人との繋がりをもっとも強く感じる期間であり、一家にとってはかけがえのない期間なのです。

お盆には、帰ってきたご先祖様がゆっくり休まれる部屋を用意します。この部屋が精霊棚（盆棚）です。棚の上には、ご先祖様のお位牌、季節の野菜や果物、そうめん、故人様が生前に好きだったものなどをお供えします。棚を整えるのが難しい場合は、お仏壇の前に小机を置き、テーブルクロス等を敷いてお位牌やお供物を供えるようにするとよいでしょう。

お供えの一例



盆棚の一例



中学生が職場体験を行いました

昨年度に引き続き、さいたま市中学生職場体験事業として、さいたま市立城北中学校、桜山中学校、川通中学校の3校で合計9名の生徒が常源寺にて職場体験を行いました。これは、さいたま市立のすべての中学校で実施されている事業で、学校近隣の事業所等で3日間の職業体験を行い、望ましい勤労観や職業観を身に付けようとするものです。猛暑の中、生徒たちは本堂の清掃、お盆の大施食会の準備、坐禅の体験等を行いました。はじめてお寺の本堂の中に入ったという生徒も多く、お寺の役割や仕事について興味をもつ良いきっかけとなったようです。



自然葬永代供養墓苑『清蓮の苑』お申込受付中

本年5月に常源寺境内に開園した自然葬永代供養墓苑「清蓮の苑」の新規お申込を受け付けております。お墓の管理や後継者が心配な方や墓じまいを検討されている方を対象とした新しい形のお墓で、常源寺が責任をもって永代供養をさせていただくものです。護持会費や年間管理費等も不要で、生前のお申込も可能です。無料で資料をお送りいたしますので、お気軽にお問い合わせください。

